



Newspaper in Education



浜松市立高 女子野球部員村松さん



最後の交流戦を終えてチームメートから胴上げされる村松さん＝浜松市東区の浜松市立高野球部練習場

交流戦で活躍有終の美

夏の大会
裏方に転向 甲子園出場目指す

浜松市立高（中区）の野球部初の女子選手村松純奈さん（3年）が、このほど同市で開かれた浜松東高との交流戦を最後にマネジャーへ転向した。女子は公式戦の選手登録ができないため。男子顔負けの根性で部員に刺激を与えてきた村松さんは「残念だけど、大好きな仲間と甲子園を目指したい」とチームメートに願いを託す。

小学6年で野球を始めた村松さんは、持ち前の運動神経でチームの主力となった。引佐北部中野球部では主将を務め、3番打者として活躍。高校でも「高

いレベルで野球がしたい」と野球部を選び、初めて出場した1年秋の練習試合では左翼越えの二塁打を放って周囲を驚かせた。

3年前に県ベスト4まで進んだ同高は練習の厳しさも有名。徐々に男子との体格差も表れ悔し泣きする日もあった。それでも「みんながチームの一員と認めてくれたから」と必死で食らいつき、目標だった交流戦で背番号「20」をつかんだ。

1番右翼手で出場した交流戦は、打撃妨害で出塁し、三塁から捕逸の隙に得点。懸命に磨いた足技で勝利に貢献した。仲間の胴上げで有終の美を飾った村松さんは「みんなのおかげで頑張れた。今度は裏方でチームを支えたい」と目に涙を浮かべた。藤田裕光監督は「純奈の頑張りが男子

を奮い立たせてくれた」とたたえた。

2012年6月20日朝刊 西部版

① 胴上げされた村松さんが何を言っているか考えましょう。

② 野球部の活動を続ける村松さんの^{がんば}頑張りについて、話し合しましょう。

年 組 名前

（小学校高学年以上 国語・総合）